

「VICTORY！」は、『湘南ベルマーレ』というJリーグクラブのホームタウンに住むみなさんに、サッカーを通じてより多くの人とふれあい、地域への思いを深め、スポーツの楽しさを体感していただきたい。そんな願いを込めてASAがお届けする情報紙です。

企画・制作 / 株式会社 朝日新聞経営研究センター 協力 / 株式会社 湘南ベルマーレ

“この一年を人生最良の年に” その思いを積み重ねていく。



■ タイキャンプの成果

● キャンプの目的について、監督からはどんな話がありましたか。

監督には「お互いをよく知るためにコミュニケーションを深め、選手同士の信頼関係を築くよう努力してほしい」と言われていました。昨年のメンバーがベースになっていますが、13人の新加入選手を迎えて、いかにチームがひとつにまとまるかが、ベルマーレのチームサッカーをするうえで重要なカギだからです。

● トレーニングの内容を教えてください。

タイプレミアリーグのチームなどを相手に練習試合を8試合行いました。例年になく実践中心でしたね。体力的なパワーアップもそうですが、開幕前に試合をたくさんこなすことで、できることとできないことを明確にすること、チームメイト、とくに新加入選手とコミュニケーションをとりながらお互いのプレーをよく知ることなどを意識して取り組みました。

● 新入団の選手との連携はどうでしたか。

やっぱり最初はパス一つにしても、息が合わないプレーが多々ありました。それでも監督からは「まずトライしろ。トライ＆エラーだ」とずっと言われていたので、みんなその言葉通りチャレンジやトライして、ダメだったら改善する、を繰り返していました。実際にたくさん試合をこなしていく中で、お互いにプレーの特長がわかりはじめ、チームとしての狙いが掴めてきたと思います。

● 海外のチームとの対戦もいい経験でしたね。

そうですね。気候やグラウンドコンディションなどの日本と違う環境、アウェイの雰囲気など厳しい部分も多かったけれど、そのなかで工夫したり、我慢して戦う

3年ぶりにJ1のステージに挑む湘南ベルマーレ。1月下旬から11日間にわたるタイ・バンコクでのキャンプを終え現在は馬入グラウンドで3月2日のシーズン開幕に向けてトレーニングの日々を送っている。入団6年目、2010年にJ1での戦いを経験している島村毅選手に今季あらためてJ1に懸ける意気込みを聞いた。

精神的な強さも身につけることができました。またスタイルも特長もまったくわからないチームとの対戦は、ゲームをしながら自分たちで戦い方を考えなければなりません。それは今までJ2にいた僕たちが、初めてJ1のチームと当たるときのトレーニングという意味でも有意義なことでした。

● 監督からはACL(アジア・チャンピオンズリーグ)を目指すという話もありました。

はい。そのために海外のチームとの試合は、貴重な経験になったと思います。

J1で戦うのに目指すところが『残留』では、自分たちも応援してくれる人も面白くないでしょう。結果はどうなるかわからないけれど、目指すのはACL出場です。

■ 今季はJ1のステージで

● 島村選手自身はどんな意気込みでJ1に挑みますか。

昨年はみんなでカバーしあって、チームプレーに助けられていた部分もありました。でも今季はJ1のフォワードに1対1で勝ちたい。個の力で相手からボールを奪い取れるような力をつけて、僕のところで相手の攻撃を止めるプレーができるようになりたいと思っています。

● 2010年にJ1を経験している選手も少なくなりました。

あのときは、フォワードからコンバートされてまだ半年くらいで、ディフェンス経験も浅くボロボロにやられてしまった。あれから徳島への期限付き移籍を経て経験を積み、その状況によって最良のポジションをとったり、まわりの選手にコーチングするなどほかの選手との連携も考えたプレーもできるようになりました。自分自身でも成長できたと思います。あのときは違う自分の姿をJ1のピッチで見せたいですね。

● チーム内のポジション争いも激しくなりますね。

昨年と同様、ポジションを約束された選手は誰もいません。一日一日がサバイバルで、その競争に勝ち抜いて次の試合のポジションを獲得する。その連続です。

● その中で島村選手の強みといたら何でしょう。

年間通して良い悪いの波が少ないことだと思います。昨年も大きなケガもなく、いつ呼ばれてもピッチに立てるコンディションができていました。メンタル面でもひとつの結果に一喜一憂することなく、いつでも平常心で

DF/No.30

島村 毅

Tsuyoshi SHIMAMURA



試合に臨むことができるのが僕の強みです。

それから、これはみんな気づいていないと思うけれど、けっこう脚が速いです。ポジション的に目立たないかもしれませんが、裏を取られたときの対応などスピードでカバーできることをアピールしていきたいです。

自分らしさという、高さを生かしたセットプレー。それでもJ1の長身の選手のなかでは、高さだけでなく、かけひきや工夫が必要だと思っています。ハイレベルな試合のなかで、セットプレーからの得点は重要です。そこで得点を決めて勝ちを引き寄せられるようになりたいです。目標は6点、いや10点取ります。

● どんな一年にしたいですか。

出場試合数も得点もアシストも、今まで以上の結果を出す。僕も20代後半になり、今年がいままで積み上げてきた人生で一番いい年だったといえる一年にしたいです。僕は子どものころからKAZUさん(三浦知良選手)に憧れていました。KAZUさんが20年以上もプロ生活を続けることができているのも、一年一年大切にサッカーをやってきた結果です。僕も、今年だけでなく毎年“一番いい一年”を積み重ねていきたいと考えています。

■ 2013開幕戦にむけて

● 開幕戦の相手、横浜F・マリノスの印象は?

2010年のときは中村俊輔選手とマッチアップして、やられ放題だったので、今回は絶対自由にはさせないというリベンジの気持ちで向かいます。それに兵藤(慎剛選手)は、大学(早稲田)でも同学年でサッカー部のキャプテンをしていたので絶対に負けたくない相手です。

ベルマーレの開幕戦がアウェイというのは最近なかったですね。幸い、同じ神奈川県だしサポーターのみなさんもぜひ競技場に駆けつけてください。続くホーム開幕戦の相手、鳥栖も一昨年は同じリーグで戦っていた相手だし、負ける気がしません。スタートから勝ち点を重ねて、J1で旋風を巻き起こします!(インタビューは2013.2.12に実施)

Profile

島村 毅 (しまむら つよし)

1985年8月10日生まれ(27歳) 埼玉県越谷市出身
早稲田実業高校から早稲田大学へ。2008年湘南加入。プロ入り後、FWからDFにコンバートされる。183cm/74kg

2013 J1 リーグ 3.2 開幕!

初戦は日産スタジアムで横浜F・マリノス戦

2013年J1リーグの開幕戦は、アウェイで横浜F・マリノスとの『神奈川ダービー』に臨みます。13人の新メンバーを加え、平均年齢も23.3歳とさらに若くなった湘南ベルマーレ。新キャプテンは加入3年目のMF永木亮太(24)が、副キャプテンを同じく3年目のMF高山薫(24)とベテランのFW古橋達弥(32)が務めます。2年目のシーズンに挑む専貴監督は「J1に上がってもいまままでとやることは変わらない。うちにしかできない攻撃的なサッカーをするだけ」と揺るぎない信念で指揮をとりまします。開幕まであと10日。J1のステージで、ハードワークを武器に戦う湘南ベルマーレに熱い声援をよろしくをお願いします。

◆ 2013新ユニフォーム



ホーム用はライトグリーンを基調に袖にトビウオをイメージした青いラインが入っている。白いアウェイ用は10年ぶりに襟付きを採用。どれも左胸のエンブレムの上に天皇杯とアジアウィナーズカップ選手権優勝を意味する2つの星があしらわれている。

● ホームゲーム試合日程 ※会場はすべて Shonan BMW スタジアム平塚 2013 Jリーグディビジョン1

節	開催日	キックオフ	対戦相手	チケット
2	3月9日(土)	19:00	サガン鳥栖	発売中
3	3月16日(土)	16:00	清水エスパルス	発売中
5	4月6日(土)	17:00	川崎フロンターレ	3月15日発売
7	4月20日(土)	16:00	大分トリニータ	3月15日発売
9	5月3日(金・祝)	16:00	セレッソ大阪	4月15日発売

2013 Jリーグ ヤマザキナビスコカップ

2	3月23日(土)	16:00	大宮アルディージャ	発売中
---	----------	-------	-----------	-----

※チケットはチケットぴあ、コンビニなどでお求めいただけます。
※詳細は湘南ベルマーレ公式サイトをご覧ください。